



# 三重大学のみなさんとの意見交換

## 三重大学のみなさんと意見交換会を実施しました。

昨年度に引き続き、環境報告書に関する意見交換を三重大学のみなさんと行いました。今回は三重大学が環境報告書を初めて作成することもあり、三重大学と三重県それぞれの環境報告書に対して双方で意見交換を行いました。また、当日は、意見交換に加えて環境保全に関する施設見学会も開催するなど、お互いの特性を知るよい機会となりました。三重県は、いただいた貴重なご意見を今後の活動に活かしていきます。

## (1) 三重大学環境報告書に関する意見交換

平成18年8月30日、三重大学において三重大学の環境保全取組及び環境報告書に関する意見交換を行いました。下記に三重大学環境報告書に対する主な意見、これに対する三重大学のコメントを紹介します。

### 三重県からの意見

環境報告書の読み手として大学関係者を想定しているのでしょうか。

環境活動及び環境報告書の作成に学生が積極的に関わっていることが三重大学の特徴だと思います。

中長期的なビジョン、目標が掲げられるとよいと思います。

環境報告書を読んでもらう工夫として学生や教職員の「顔が見える」記事を掲載してはいかがでしょうか。

三重大学の環境活動のキャラクターとして公募により選ばれた「まもる」を、環境報告書に登場させてはどうですか。

大学特有の記述があるので、一般の人が読んだときにわかりやすい表現にされた方がよいと思います。

### 三重大学からのコメント

主な読み手として学生を想定しています。この環境報告書を環境学習のテキストとしたいと考えています。また、今後、三重大学を受験する高校生にも読んでほしいと思います。

環境活動に関する学生の取組を紹介しています。

中長期的なビジョン、目標の記載については、今後の課題とします。

今回は、教員と学生委員による座談会を掲載しています。また、環境活動に関する学生の取組も紹介しています。

「まもる」の登場を工夫します。

「団地」といった表現や、研究内容の紹介について再考します。

三重大学は  
はじめて環境報告書  
をつくります。



意見交換



施設見学 (バイオマス発電)



施設見学 (風力発電)

## (2) 三重県環境報告書に関する意見交換

平成18年9月5日、三重県庁において三重県の環境報告書に関する意見交換を行いました。下記に三重県環境報告書に対していただいた主なご意見、これに対する県のコメントを紹介します。

### 三重大学からの意見

表紙については、イラストよりも三重県を象徴する写真としたことは、三重県らしさがありよいと思います。

RDFについては、昨年度と違う取組、県の努力している姿をしっかりと表現する必要があると思います。

アスベスト問題について、昨年度かなり社会的に問題となっているので記載すべきではないでしょうか。

三重県独自の環境マネジメントシステムであるM-EMSの取組実績をどこかで紹介してはいかがでしょうか。

URLの表記が長すぎて、そのページを見ようとする人が、間違っ て入力する可能性が高いのではないのでしょうか。

### 三重県からのコメント

昨年度までは、わかりやすさや親しみやすさを表現するためイラストとしていましたが、今回は、社会的取組の状況にページを割き、事実を厳しくみつめるという意味もあり写真としました。

担当部局にいただいたご意見を伝え、表現を再検討します。

担当部局に状況を確認し、記載する方向で検討します。

その方向で再検討します。

URLの表記をわかりやすく工夫します。



県庁内では  
気づかない、貴重な  
意見をいただきました。

それらの意見を  
反映させて環境報告書  
をつくります。



目次のピクトグラムとみえこの「表情」で目標の達成・未達成を表現していることは、読み手にとってとてもわかりやすく、三重大学の環境報告書にも取り入れたいと思います。



意見交換



施設見学 (大型シュレッダー)



施設見学 (リサイクルセンター)



意見交換終了後

### 三重県環境報告書に関する意見交換参加者 (敬称略)

三重大学  
渡邊悌爾副学長、朴恵淑教授、荻原彰助教授  
【施設部】 松見康博、虎澤敬彦、大石正彦、杉本裕康、稲垣美穂子  
【財務部】 池邊晴樹  
【環境ISO学生委員会】 木村祐哉、古市貴之、佐藤花衣、吉田伸行

三重県  
【総務部】 眞伏秀樹、福永和伸、扇本みどり  
【環境森林部】 中山みどり、村林正裕、朝倉嗣雄、福山将敏

